

佐々木和之(国際ミッション・ボランティア、ルワンダ)帰国報告会

— ジェノサイドから 21 年、平和を築く道 —



佐々木和之 (ささき かずゆき) さん

日本バプテスト連盟国際ミッション・ボランティア。1965 年横浜市生まれ。大学で熱帯農業について学んだ後、1988 年から計 8 年半、飢餓が深刻なエチオピアで農村自立支援に従事。エチオピア在住の 2000 年にルワンダを訪問し、紛争の深い傷跡に衝撃を受ける。同年 10 月からブラッドフォード大学平和学部博士課程に在籍し、ルワンダの紛争問題と平和構築について研究。2005 年から現在に至るまで、現地 NGO リーチ (Reconciliation Evangelism and Christian Healing) と協力し、大虐殺後の「癒しと和解」プロジェクトを展開。2011 年からは、プロテスタント人文・社会科学大学の教員として、ルワンダ初の平和・紛争研究学科設立のために尽力。洋光台教会員

暴力・恐れ・憎しみを越えて

佐々木さんの横で微笑むベスティヌさん。彼女は、「償いの家づくり」に被害者側として参加した方です。虐殺時に破壊した家を、加害者自ら建て直すことで、被害者に謝罪し、生活改善に奉仕する「償いの家づくり」。その現場は、被害者と加害者の共同作業の場となりました。そして今、被害者と加害者が、収入の確保のために、共に働く「養豚プロジェクト」を開始し、彼女はその用地を提供したのです。ジェノサイドの被害者と加害者が共通の目的のために力を合わせて働くなど、数年前まで絵空事でしかありませんでした。しかし、それが現実となっているのです。



ジェノサイドから 21 年を経て、加害者と被害者の壁を乗り越え、和解と共生への取り組みが始まっています。佐々木さんは、ルワンダの大学(PIASS)に平和・紛争研究学科を設立するために尽力しました。ルワンダの若者と世界の若者が、ここで出会い、平和構築のために共に学ぶことを目指しています。ここに至るまでに想像を絶する憎しみや苦悩、到底克服できないと思える対立や葛藤があったことでしょう。そして現在も、その取り組みがおこなわれています。恐怖や不安におびえ、対立的感情に煽られている世界の中で、私たちもルワンダの取り組みから学んでいきましょう。

佐々木さんの一時帰国にあたり、特別礼拝(佐々木和之さん説教)、帰国報告会をおこないます。ぜひ、お越しください。今回は、PIASS で佐々木さんに学んだ卒業生も同行します。

2015 年 11 月 15 日(日) 11:00-12:30 特別礼拝
13:30-15:00 帰国報告会

どの集会にも自由にご参加ください。入場無料です。持参するものは何も必要ありませんので、お気軽にお越しください。

日本バプテスト広島キリスト教会

〒730-0841 広島市中区舟入町 1 2 - 7

(市電江波線 舟入町電停すぐ) 牧師 播磨 聡、小野祐基

電話 082-293-8683 HP <http://hirohap.a.la9.jp/>

